



田園調布中だより

発行日 令和7年4月17日

令和7年度 4月号

大田区立田園調布中学校

校長 田谷 至克

令和7年度のスタートにあたって

大田区立田園調布中学校長 田谷 至克

春暖の候、保護者、地域、近隣の学校、関係機関等の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃より、本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

本校2年目となりました校長の田谷至克（たや のりよし）と申します。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。本年度は4月1日の時点で、新入生が52名（2学級）、2年生47名（2学級）、3年生52名（2学級）、計151名の6学級となりました。

<4月8日（月）着任式・始業式>

新しいクラスの仲間と共に、新たな先生方との対面に少々緊張感が漂ってはいましたが、大変落ち着いた雰囲気でした。新2・3年生には、新しい学年担当の先生方や学級担任、部活動顧問を発表しましたが、しっかりとした挨拶、真剣に話を聴く態度はさすが田中生でした。始業式の式辞ではこのような講話をしました。

2・3年生のみなさん、進級おめでとうございます。

本年度、特に生徒のみなさんに頑張してほしいことは「主体的に考えること、理解を深めること」です。みなさんはこれまで授業や学級活動等でタブレットなどを活用して、班や学級全体での話し合い活動に取り組んできましたが、今年は次の点を意識して言語活動を進めてください。

○まず、「自分の考え」をしっかりとって話し合いに参加すること

○班員や学級全体で「様々な考えを聞く」「議論する」など、積極的に意見交換すること

○今年は、様々なものの見方に触れ、仲間と意見交換や議論を重ねる中で、新たに気づいたことを補ったり、あるいは削ったり、時には大幅に修正したりするなどして、もう一度「自分の考えや意見を再構築」してほしいと考えます。

<4月9日（火）入学式>

それぞれの学級担任（担当）の呼名に対し、元気よく「はい」と返事をしてくれて、とても頼もしく感じました。式辞では、私が中学校三年生の国語の時間に暗記した漢詩「偶成 朱熹」（冒頭、「少年老易く 学成り難し」で始まります。）をもとに次のような話をしました。

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

中学校生活三年間は、長いようで短いです。そして、心も体も急に大きく成長します。この時期は、やろうと思えば何でも吸収できる時期です。たった一時間で、漢詩を暗記することができるくらいです。だからこそ、一日一日を、一時間一時間を大切にしましょう。

=お知らせ=

- ① 令和7年度の教職員異動及び組織については、裏面をご覧ください。また、令和7年度学校経営方針及び年間行事予定は、学校ホームページにアップしております。
- ② 将棋部については、部員がいらないこと、顧問が異動したことから「廃部」とします。
- ③ 生徒が不安や緊張感などにより教室に行くことが難しい場合に利用できる校内教育支援センターとして「ぎんなんルーム」を設置しました。入室に関しては学級担任にご相談ください。
- ④ 田園調布小学校の校舎改築工事に伴い、本校で田園調布小学校の運動会や水泳指導等を実施します。
- ⑤ 夏季休業中にガス管改修工事を行う予定です。一部を除き、教室や体育館等の空調機（エアコン）の使用ができません。そのため、三者面談や部活動に支障が生じる可能性があります。今後、対応策を検討して参りますので、あらかじめご承知おきください。
- ⑥ 令和9年度から大田区内全校実施となる「コミュニティ・スクール」の導入を目指し、準備を進めていきます。

結びとなりますが、校長として、こどもたち一人一人が確かな学力を身に付け、毎日元気で楽しい学校生活を送ることができるよう誠実にそして心を込めて教育にあたります。

本年度も、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。